

A serene sunset scene over a calm body of water. In the foreground, a wooden pier extends into the water, with several silhouetted figures standing on it. A tall, thin lamppost stands on the pier. The sky is filled with soft, golden light from the setting sun, with scattered clouds catching the light. In the background, dark, silhouetted hills or mountains rise from the water's edge.

はじめよう
あなたにちょうどいい暮らし

Hirao

ひらお移住・定住ガイドブック

温暖な気候と
たっぷりの自然に包まれて暮らす
のんびりと「ひらおらいふ」
はじめませんか？

海と山に囲まれた半島の町
ここに一歩足を踏み入れると
時間がゆるやかに流れはじめる
環境に優しい農業を目指すため
釣りやアウトドアを楽しむため
海を眺めながら暮らすため
たくましくて優しい子どもに育てるため
理由はそれぞれ違うけれど
ただ一つ共通しているのは
「自分らしく生きるため」
ここ平生町で
新しい暮らしを考えてみてはいかがでしょうか



平生町



イタリア半島

室津半島

イタリア半島

イタリア半島に似ていることから、「イタリアーノひらお」をキャッチフレーズに、オリーブやレモンの栽培研究をしたり、フェスタを開催するなど、地域活性化に取り組んでいます。



平生町のここがイイ！

田舎はどこも同じと思っていませんか？海があって山があって、水や空気がおいしくて、自然豊かな町は他にもたくさんあるけれど、平生町ならではの魅力の一部をご紹介します。

◎温暖で暮らしやすい

年間を通して気温が安定しており、いわゆる瀬戸内海式気候に属しています。台風の上陸・接近回数や地震の発生回数といった自然災害リスクが全国的に見ても少なく、日々平穩に過ごすことができます。

◎地場産の環境に配慮した農産物、鮮魚などが手軽に

ひらお特産品センターでは、約160人の生産者等による採れたて野菜や果物を揃えています。また、環境への取組は出荷規程により☆印の数で等級別に管理されています。その他、女性グループが交代で毎日手作りしているヘルシーなお弁当やお惣菜、パン、ケーキなども評判で、鮮魚＆水産加工部門では地元産のポイルダコやハモも販売されています。

◎サイクリストにうれしい

海岸線の道路には各所にサイクルエイドが整備され、週末ともなれば多くのサイクリストが潮風を感じながら楽しんでいます。

◎土地が安いからマイホームの敷地も広々

1住宅当たり延べ面積を見れば一目瞭然。東京都65.90㎡、大阪府76.98㎡、福岡県84.66㎡に対し、山口県は102.30㎡！これなら子育ても伸び伸びと、ゆったりとした空間の中でおうち時間を楽しむことができます。（出典：「平成30年住宅・土地統計調査」（総務省統計局））

◎待機児童ゼロ！ママもパパも働きやすい

平生町内には公立と私立をあわせて3カ所の保育園があり、令和2年12月現在待機児童0人を達成しています。充実した子育て環境で安心して働けますよ。

◎きめ細かな教育が魅力の小規模特認校がある

小規模特認校である平生町立佐賀小学校の全校生徒は50人弱。おらかな環境の中で子どもたちは明るく元気に過ごしています。毎日のようにボランティアが訪れるなど地域住民や家庭の協力が素晴らしく、農業体験もそのひとつ。1年生から6年生まで、水やりや手入れは当番制。自分たちが育てた野菜は、値段設定やパッキング作業をしてイベントに出店したり、給食の食材としても使われています。全年齢が集まって一緒に食べるというスタイルもユニークですね。



ゆったりスローに
このまちだから生まれる味

広島市内で飲食店を営んでいた長峯さん夫妻。尾道市や広島市周辺を探し歩き、たどり着いたのが妻の直美さんの実家がある平生町でした。「里帰りするついでにこの建物を見て、広さもちょうどいい土地付きなのが気に入って、すぐに契約しました」と夫の剛さん。飲食店として開業するにあたって専門的なことは業者に依頼したものの、改修はできる限り自分たちの手で。白を基調に、あたたかな居心地のいい空間です。主に市場では手に入りにくい野菜を無農薬、無化学肥料で自家栽培。丁寧な暮らしがおいしい料理へと繋がっています。〈ちいさなまちの小さな自家菜園ビストロLa Paix／長峯さん夫妻〉

ちいさな町の郵便局は まるで家族のような ふれあいの拠点に

広島県に10年、山口県柳井市に8年、中国支社に3年。ようやく地元に戻れたと話す西本さんは、一度離れてみて生まれ育った町の魅力を再確認したひとり。田んぼの匂い、空や海の青さ、おいしい空気。人のやさしさを感じる「田舎の良さ」をこの職場で身を以て体験しています。周囲は高齢者がほとんどで、みなさん世間話を楽しみに訪れます。「朝採れ野菜をほぼ毎日持ってきてくださる方がいて、販売コーナーを設けました。これ目当ての方も多くて、松尾さんのピッツア同様喜んでもらっています」人々の声を拾い集める小さなまちの郵便局は、地域を支える大きな存在。やり甲斐もひとしおです。

〈佐賀郵便局／西本久美子さん〉





自宅の敷地内に工房を建て、お手製の石窯でピッツァを焼く松尾康弘さん。瀬戸内海を望む高台に佇むカントリーコテージは、月に数日間だけオープンする密かなレストランで、大人たちのとっておきの隠れ家でもあります。イタリア製の家具などを設えた空間は居心地が良くておしやれ。まるで友人宅に招かれたような感覚です。

ここは妻の則子さんの実家で、定年後の第二の人生を自分らしく生きるために移住してきました。地産のアルギットみかんでジャムをつくったり、地元郵便局にピッツァの販売コーナーを設けたり、人とのつながりをとても大切にしている松尾さん。人望も厚く、地域活性化にも尽力しています。

〈カントリーコテージ／松尾康弘さん〉



お手製石窯でピッツァを焼く里山暮らしの楽しみ方





山口県光市から移転し、自宅の一部をギャラリーにしたお店
海辺の朱夏。メイン道路から少し奥まった知る人ぞ知る大人の
隠れ家は、その名の通り青い海が一望でき、春には桜も。
その見事な風景は、まるで美しい一枚の絵画のよう。シックで
落ち着いた和の空間には岡村さんの暮らし目線で選び抜かれた
服やバッグ、雑貨たちが心地よさそうに並んでいます。移りゆ
く季節を愛でながらゆっくりお買い物ができます。ただモノを売
るだけではない付加価値。これを提供できるのは、海辺の朱
夏だからこその特権です。〈海辺の朱夏 / 岡村八重子さん〉

海とともに
四季折々に楽しむ
丁寧な暮らし



夫の泰樹さんは熊本県、妻の妙子さんは大分県出身。スポーツが縁で山口県を訪れ、以前は岩国市に住んでいたそうですが、住みやすさと子育てのしやすさから平生町へ。「正直田舎で何もないと思っていたんですが、ちょっと走れば山と海、自然の中で遊べるのがいいですね。待機児童の問題もなく保育園も希望通り入れたし、食べ物もおいしい。土地価格が安いので、マイホームの新築も広い敷地が購入できてよかったです。家族が幸せに笑って暮らせることこそ、本当にいい町と言えるのではないのでしょうか」。〈Iターン移住者／中村さん一家〉

広々とした土地に
夢のマイホーム
子育て世代にうれしい町

大分県中津市出身の中尾花奈さん。数ある看護学校の中からこの地を選んだのは、豊かな自然が故郷の町に良く似ていて安心できたからだと話します。写真が趣味で、休日にはカメラ片手に町の風景を撮影しに出かけることもあるとか。現在は准看護師として病院、クリニック、介護施設などで働きながら日々勉強中。仲間や講師と共に学校生活を楽しみながら、「誰からも頼りにされる人になりたい」と目を輝かせていました。
〈平生看護専門学校／中尾花奈さん〉

夢を抱いて大分から
決め手は平生町の豊かな自然

満天の星の下なら
無垢な自分と向き合える

ハートランドひらおスポーツレクリエーション公園キャンプサイト。ソロキャンプで、グループキャンプで、キャンプライventで訪れます。すぐそこにあるリフレッシュ空間は、現実を忘れさせてくれるとっておきの場所。歓談が一区切りして見上げる星空に物語を辿ると、自分たちのストーリーと重なったりも。大星山山頂は夏の夜空も澄んでいて、撮影の隠れスポットなんだそうです。天の川が降り注ぎ、オリオン座が見えてくると冬のはじまり。さあ、次回はみんなとどんな話をしようかな。
〈平生町商工会青年部〉



突き抜けるような青い空と 佐合島の美しい海に惹かれて移住



海との一体感が味わえるシーカヤックは、特別なライセンスがいらないこともあり、誰でも気軽に楽しめると人気のマリンスポーツです。平生町を拠点とするダイドックオーシャンカヤックスは、佐合島などを目指すアイランドホッピングツアーを中心としたシーカヤックの体験ツアーを開催しています。

代表ガイドの原さんはアラスカ遠征、アマゾン川単独下降4km、ユーコン川単独下降3kmなど、カヤックを相棒に世界の海や川を旅してきた、根っからの冒険家。世界中をめぐることで、改めて平生湾の海の穏やかさや透明度の高さに魅了されたそうです。この海域はスナメリが生息することでも知られ、自然の素晴らしさが体感できる最高のスポット。明朗快活な人柄で、カヤックを通して自然と関わることの楽しさをたくさんの人に伝え続けています。

〈ダイドックオーシャンカヤックス／
原康司さん〉





「酵素の王様」青パパイヤ 6次産業化への挑戦

福岡県でフードコーディネーターとして活動していた重富貴保さん。未病対策に役立てるため、食と農に関わる仕事がしたいとUターンし、平生町で青パパイヤ栽培をはじめました。長野県で有機栽培の研究をしてきた大久保さんを迎え、農薬・化学肥料を使わない農業に取り組んでいます。ここは日照時間が長いので、育てやすいとのこと。葉っぱは乾燥しただけでは独特の苦味があって飲みにくいのですが、焙煎度合いを工夫し、毎日飲めるお茶に仕上げたパパイヤリーフティーは大好評。健康に役立つ成分がぎゅっと詰まった青パパイヤで、6次産業化に向けて頑張っています。〈亜細亜物産株式会社／重富貴保さん〉





店内でいちばん素敵なインテリアは、窓越しに見える景色。日ごとに変わる海の表情も間近に感じられて、さざ波の音をBGMに心が洗われるよう。山口県周南市・岩国市での生活を経て移住した清水さんは、理想のロケーションに巡りあったと話します。ひとりのお客様だけに集中したマンツーマンで、カットとヘナ専門店として髪にやさしい施術と心

地いい時間を提供。「髪型をこうしたい」という声より、「ここで過ごす時間が好き」と言われることが多いのだそう。建物の下にはプライベートルーム感覚の砂浜があり、夕日の中をのんびり散歩したり、時間を見つけては夫婦でビーチクリーンも。大好きな海を眺めながらの毎日を心から楽しんでいます。へ海辺のちいさな美容室メリ／清水美貴野さん



お客さまも私自身もここで過ごす時間が好き



多くの幸をもたらしてくれる
瀬戸内の恵みを守りたい



小田水産は佐賀地区にある水産加工会社。現在若手の佳希さんが三代目として頑張っています。東京で美容関係の職に就いていたそうですが、東日本大震災を機に26歳でUターン。少子高齢化や後継者不足により、以前はたくさんあった同業も今ではわずかに。それでも「若い力で地域を元気にしたい」と邁進中です。いりことなるカタクチイワシをはじめ、市場に出回らない規格外のハモや、厄介者として敬遠されるアカエイなどの加工も手がけ、漁師の困りごと解決にも一役買っている様子。水産資源の維持や商品開発とその販路など課題はたくさんあるけれど、朝市の開催や捕れたての魚を捌いてふるまう海鮮丼など、新しい試みにも意欲的。今後の展開が楽しみです。

〈小田水産／小田佳希さん〉

棚田米のおいしさの秘密は 豊かな森と清らかな水

「山口の棚田 20 選」に認定されている日向平地区。山間部を流れる澄み切った水と豊かな土壌、昼夜の温度差を活かしたお米づくりに励む山崎さん一家。品種は「ひのひかり」で、収穫時期は 9 月～10 月頃秋の訪れとともにやってきます。量が多いため、稲刈りは三世代揃っての作業。夏場の草刈りは大変ですが、おいしい棚田米を今も守り続けています。〈農業／山崎さん一家〉



土に触れて自然と暮らし
心豊かに育つ子どもたち

地域おこし協力隊員として大阪府からやってきた水田さん一家。就農を志す夫の量太さんが平生町を選んだのは、環境保全型農業が盛んに行われているから。築90年の古民家に住み、今はイタリア野菜などを栽培していて、庭には草を食べてくれるヤギのくりちゃんの姿も。「子どもが通っている佐賀小学校は小規模特認校に指定されていて、少人数だから先生が一人一人をきめ細かに見てくれるのがいいですね。地域とつながる体験学習などもユニークで、素直にのびのびと育ってくれて本当によかった」と量太さん。マイペースに、ゆとりあるライフスタイルこそが田舎暮らしの醍醐味です。〈農業/水田さん一家〉



平生の海をこよなく愛する 素潜り名人



本業の自動車販売サービス会社を営む傍ら、平生町唯一の有人離島「佐合島」近海で素潜り漁をしている吉田さん。週に5回、約1時間程度干潮の時間帯を狙って出かけ、サザエやアワビ、ウニをゲット。意気揚々と、とても楽しそうです。

昔は一度この町を離れたものの、両親の会社があったため帰郷。50代になり仕事以外に何かできないかと模索し、漁協の正組合員になり漁師に。「もともと海が好きだったので、スポーツクラブで水泳もやっていたので。佐合島に移住された東京芸術大学名誉教授の南弘明さんとの出会いも大きかったですね。生きていることを実感したいから、何にでもチャレンジしていますよ」

海底から泡が出ているのを見に行ったり、島の狼煙台跡を探してみたり、大人を本気で夢中にさせるほど、この島は魅力的なのでしょう。

へ有限会社カーアシスト・吉田／吉田和人さん





海と空、水色の風景が広がる場所から
心豊かな暮らしの情報を発信

ミズイロインクは家族3人だけのちいさな会社。
山口・広島の「ステキ」を発信する地域情報誌「大人のteatime」の編集発行が主な仕事。
心惹かれるモノづくりやおしゃれなショップ、前向きに生きる人たちにスポットを当て、日々をイキイキと楽しむための本づくりをしています。移住の決め手となったのは、直感、ひらめき、発想力といったクリエイティブな感性を養うのに最適な環境だったから。トレンドを意識しながらも、テーマはあくまでも「らしさ」を忘れないこと。この場所だからこそ、できるんだと思います。
〈Mizuiroinc. 合同会社／城尾さん一家〉

統計で見る平生町

本町が位置する山口県は、都市部と比較して住まいに関する費用が安いことが魅力の一つ。ぜひ、あなたのライフスタイルに合った「最幸の住まい」を見つけてください！

	民営賃貸住宅 の家賃 ※① 1ヵ月 3.3㎡当たり	1 住宅当たりの 延べ床面積 ※②	家計を主に 支える者の 通勤時間 ※②
東京都	8,566 円	65.90 ㎡	41.0 分
大阪府	5,907 円	76.98 ㎡	32.7 分
福岡県	4,191 円	84.66 ㎡	25.0 分
山口県	3,430 円	102.30 ㎡	18.7 分

	地価（平均価格）（円／㎡）	
	住宅地	商業地
東京都	374,300	2,157,900
大阪府	150,500	1,026,500
福岡県	52,100	309,000
山口県	25,500	44,900
平生町	18,500	29,000

※令和元年地価調査より

※①出典：「平成 30 年小売物価統計調査年報」（総務省統計局）
※②出典：「平成 30 年住宅・土地統計調査」（総務省統計局）

平生町のサポート事業

新しい場所に暮らしを移すということは、精神的にも肉体的にも本当に大変なこと。
平生町に来てよかったと思ってもらえるよう移住・定住に向けた支援を行っておりますので、お気軽にご相談ください。

◎空家バンク事業

不動産関係団体と連携して、空き家の情報を公開しています。

◎空家リフォーム助成事業

空家バンクに登録した物件のリフォームや、家具など不要物の撤去費用の一部を助成します。

◎若者定住促進住宅事業

平生町内に定住を希望する若者世帯及び三世代で同居・隣居を希望する人のマイホーム取得に対して補助します。

◎起業 “チャレンジ” 支援事業

平生町内で起業する人に対して、事業所開設等に係る資金の一部を補助します。



